

# International Conference on Intelligent Robots and Systems 2012

## での論文発表



目で見る  
宮原国際研究活動  
助成論文発表

河合 祐司\*

Report from International Conference on  
Intelligent Robots and Systems 2012

Key Words : Robot Self-other correspondence,  
Maturational constraints, Machine learning

<参加会議名> IEEE/RSJ International Conference  
on Intelligent Robots and Systems 2012

<開催場所> Vilamoura, Algarve, Portugal

<渡航期間> 2012年10月7日~12日

<発表タイトル> Perceptual Development Trig-  
gered by its Self-Organization in Cognitive Learning

IROSは日本発の国際会議であり、知能ロボティクス分野の最も大きな国際会議の一つです。今回の会議では11のセッションが平行に行われ、口頭発表やワークショップ、招待講演が6日間にわたって開催されました。

私はロボットの「認知機能の獲得における発達の制約」について口頭発表を行いました。発達の制約とは、乳児の学習を促進する乳児の未熟さを指します。私はそのアイデアを機械学習へ応用し、センサ情報に分散の大きなガウシアンフィルタを故意に施すことで、学習が促進されることを示しました。今回、ロボットの学習課題として、自己（ロボット）と他者（人）の運動の対応関係獲得問題を取り上げました。この能力は他者運動の理解や模倣と関係します。このことから、本研究はロボットの社会性獲得としても注目を集め、本モデルと乳児の社会性発達との対応について他の多くの研究者と議論することができました。



筆者発表の様子



会場



\*Yuji KAWAI

大阪大学工学部応用理工学科 (2011年)  
現在、大阪大学大学院 工学研究科知能  
・機能創成工学専攻 博士前期課程2年  
学士 認知発達ロボティクス  
TEL : 06-6879-7347  
FAX : 06-6879-4843  
E-mail : yuji.kawai@ams.eng.osaka-u.ac.jp



研究者交流